



www.toyo-eng.co.jp

2003年9月

中間決算説明資料

2003年11月

決算発表 2003年11月19日

お問い合わせ先

執行役員 業務管理本部副本部長 兼 経理部長 市川 勲
(e-mail) ichikawa@ga.toyo-eng.co.jp (Tel) 047-454-1521

目次

当中間決算の特徴 3

業績

業績概況 4

損益計算書 5

売上高 6

営業利益 9

経常利益 10

当期利益 11

利益率 12

貸借対照表

貸借対照表 13

有利子負債 15

キャッシュ・フロー 16

受注

受注状況 17

受注高 18

受注残高 20

連結会社の状況 21

業績見込・目標

業績見込 22

目標 23

業績推移・中期収支計画 24

本資料に記載されている見通しや業績予想などのうち、歴史的事実でないものは現在入手可能な情報から得た当社の経営陣の判断にもとづき作成しております。従いまして、これら業績見通しのみ全面的に依拠する事は控えるようお願い致します。実際の業績は、当社の事業領域を取り巻く国内および海外の経済・金融情勢等、様々な重要な要素により、これら業績見通しとは異なる結果となりうる事をご承知おきください。

*本資料の記載金額は全て億円未満を切り捨て表示しております。

当中間決算の特徴

- ✓ 増収・減益。
- ✓ 一部の不採算案件により営業・経常・当期利益は中間期目標を達成できずマイナス。
- ✓ 受注は1805億円と好調。通期目標の82%達成。
ロシア及びイランでの大型エネルギー案件を受注。
- ✓ 有利子負債は予定通り削減
中間期58億円削減。通期では100億円超削減予定。

業績概況

【単位:億円】

		2002.9期	2003.9期	前年同期比	期初発表 中間見込	見込との 差異
連結	売上高	834	958	+124	750	+208
	営業利益	22	11	33	3	14
	経常利益	1	13	12	0	13
	当期利益	15	20	5	0	20
	受注	1225	1805	+580	通期受注目標2200億円の 82%達成	
単体	売上高	720	804	+84	650	+154
	営業利益	8	17	25	0	17
	経常利益	8	16	8	5	11
	当期利益	13	19	6	5	14
	受注	1092	1667	+575	通期受注目標2000億円の 83%達成	

期初見込の前提為替レート 1USドル: 115円 1ユーロ: 130円

損益計算書

【単位:億円】

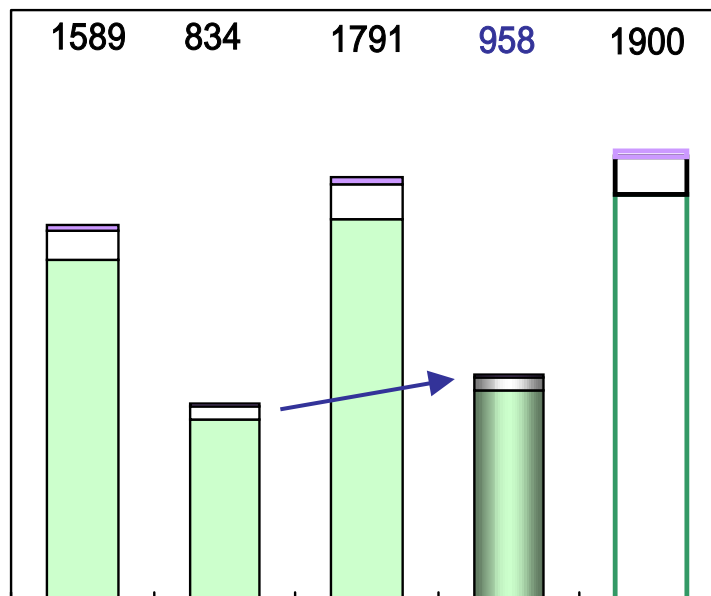
	2002.9期	2003.9期	前年同期比
売上高	834	958	+124
売上原価	752	914	162
売上総利益	82	43	39
粗利益率	9.8%	4.6%	5.2%
販売費及び一般管理費	59	55	+4
営業利益	22	11	33
売上高営業利益率	2.7%	1.1%	3.8%
営業外収益	13	9	4
営業外費用	37	11	+26
営業外損益 計	24	1	+23
経常利益	1	13	12
売上高経常利益率	0.2%	1.3%	1.1%
特別利益			
特別損失	5	3	+2
特別損益 計	5	3	+2
税前利益	7	16	9
法人税等	4	4	0
法人税等調整額	1	1	+2
少数株主利益	1	0	+1
当期純利益	15	20	5
売上高当期純利益率	1.8%	2.1%	0.3%

期初発表 中間見込	見込との 差異
750	+208
3	14
0	13
0	20

売上高

【単位:億円】

当中間期 見込



	2002.3期	2002.9期	2003.3期	2003.9期	2004.3期 見込
不動産	25	12	28	12	24
IT	121	58	149	56	160
プラント	1,442	764	1,614	889	1,716
連結 計	1,589	834	1,791	958	1,900

【参考】 単体	1,375	720	1,492	804	1,600
---------	-------	-----	-------	-----	-------

対前年同期比



対見込比



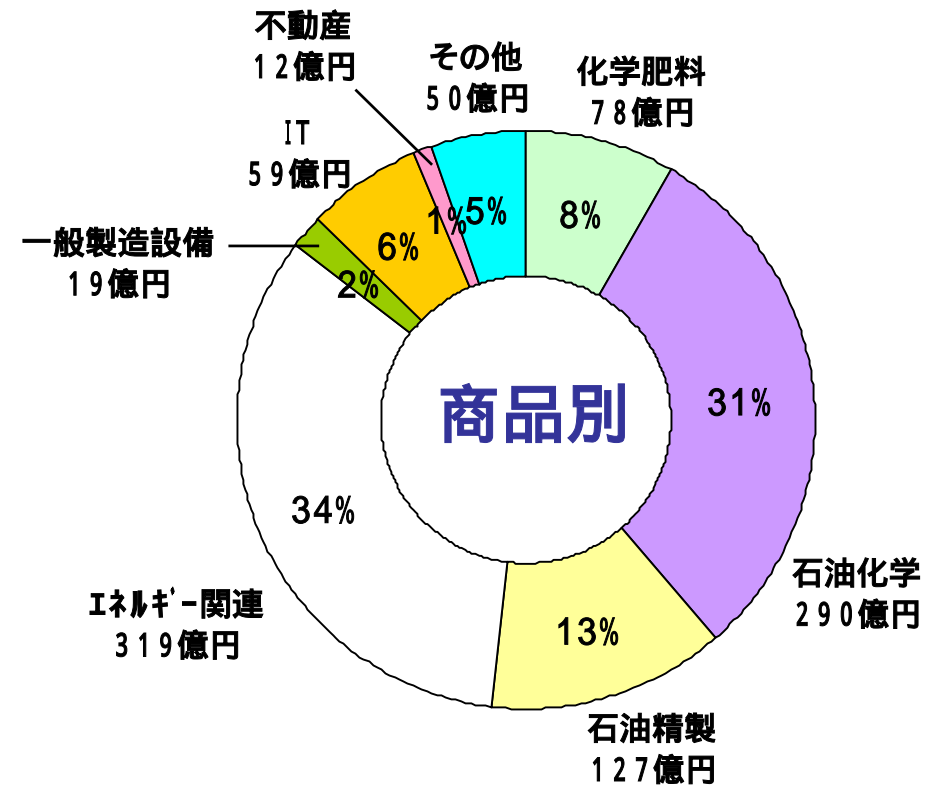
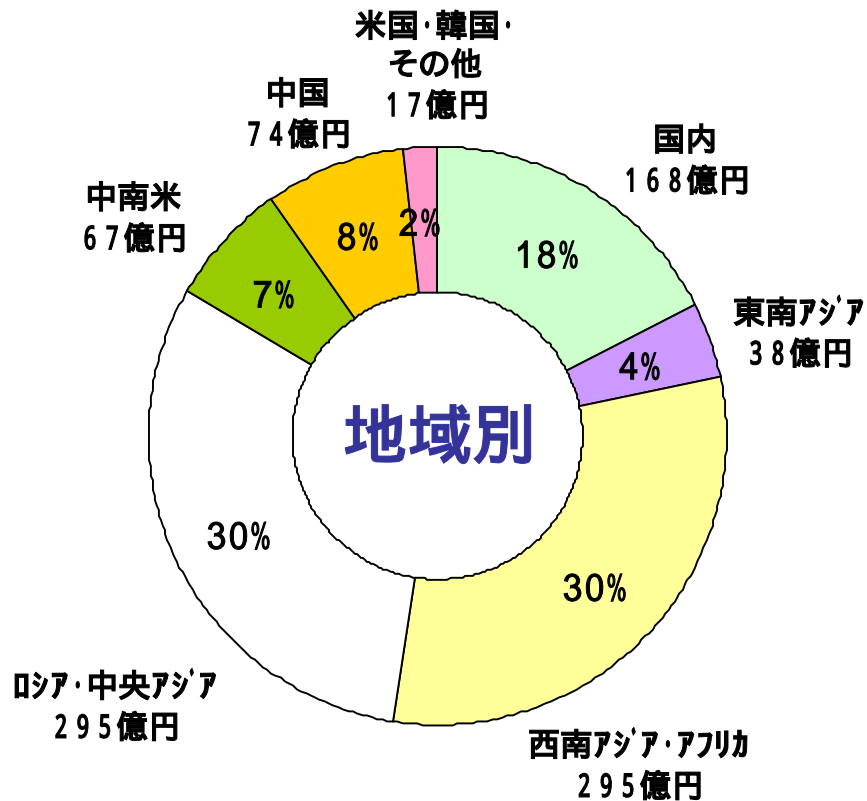
- 一部進行基準案件の進行率UP及びアゼルバイジャン向エネルギー関連案件の早期完成が増収の主な要因

セグメント	見込	当中間期	増減
不動産	14	12	2
IT	56	56	0
プラント	680	889	209
連結 計	750	958	208

売上高 (地域別・商品別明細)

【単位:億円】

2003.9月期
958億円



* その他は主に連結子会社が行っているエンジニア派遣、輸送、スペアパーツ供給など、プラント事業に係る周辺業務である。

売上高 (主要プロジェクト別明細)

【単位:億円】

2003.9月期 売上高の主要プロジェクト別明細

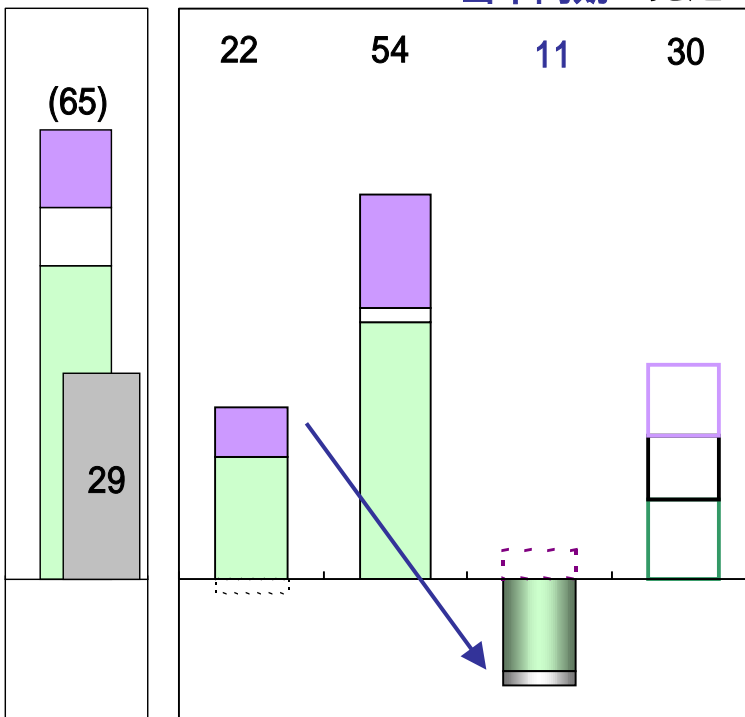
海外	100億円以上	1件	アゼルバイジャン向 エネルギー関連
	50億円以上	5件	サウジアラビア向 石油化学
			ロシア向 エネルギー関連
			ロシア向 石油精製
			イラン向 化学肥料
			中国向 石油化学
20億円以上	2件	ブラジル向 石油精製	
		イラン向 石油化学	
国内	5億円以上	1件	一般製造設備

2003.9期売上高
958億円

営業利益

当中間期 見込

【単位:億円】



	2002.3期	2002.9期	2003.3期	2003.9期	2004.3期 見込
不動産	11	6	16	5	10
IT	8	2	2	2	9
プラント	44	18	36	14	11
小計	65	22	54	11	30
本社管理費用	35				
連結計	29				

【参考】単体	14	8	31	17	10
--------	----	---	----	----	----

対前年同期比

2002/9期	2003/9期
22億円	11億円
33億円	

対見込比

見込	2003/9期
3億円	11億円
14億円	

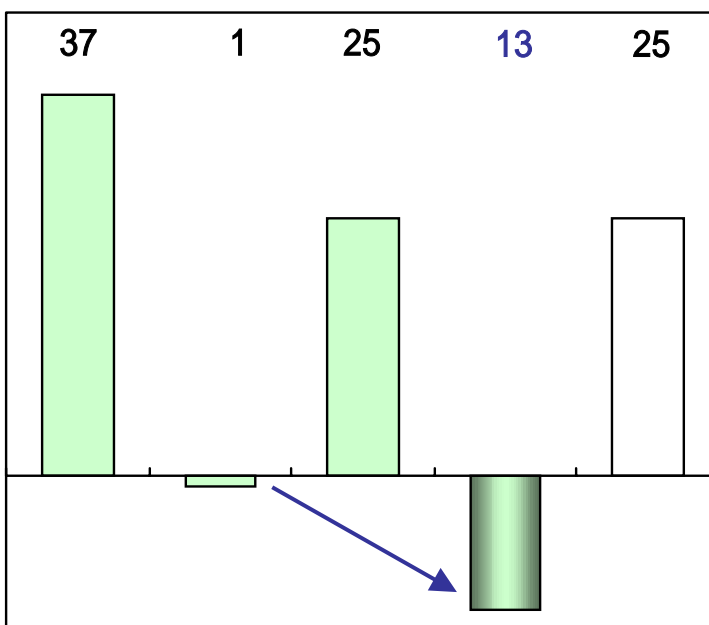
- サウジアラビア向石油化学案件でのスケジュールの遅れによる収益悪化
- 工事損益中の為替差損の発生

セグメント	見込	当中間期	増減
不動産	5	5	0
IT	2	2	0
プラント	0	14	14
連結計	3	11	14

経常利益

【単位: 億円】

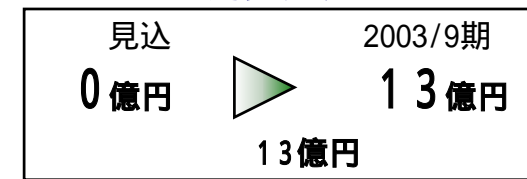
当中間期 見込



対前年同期比



対見込比



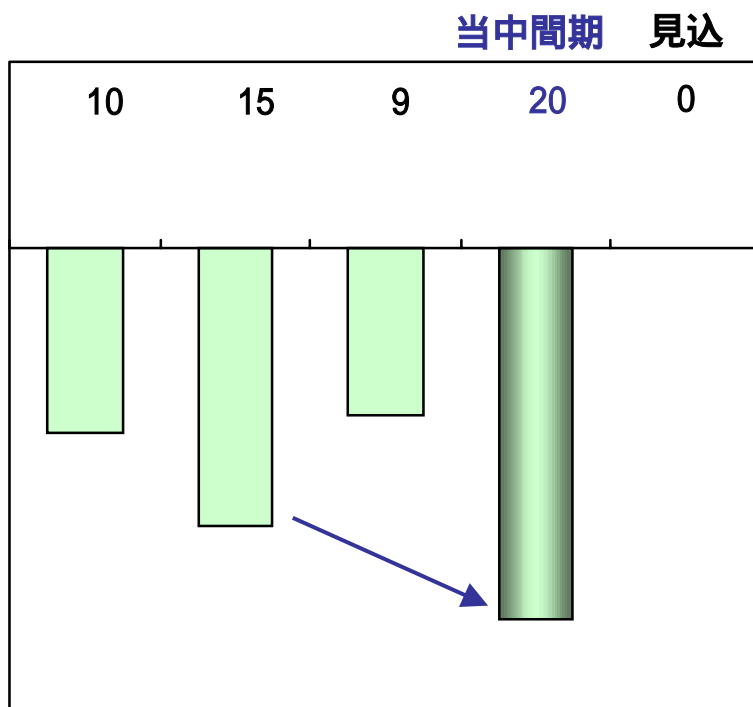
➤ 営業利益の減少をほぼそのまま反映

	2002.3期	2002.9期	2003.3期	2003.9期	2004.3期 見込
連結	37	1	25	13	25

【参考】 単体	22	8	12	16	15
---------	----	---	----	----	----

当期利益

【単位:億円】



対前年同期比



対見込比



	2002.3期	2002.9期	2003.3期	2003.9期	2004.3期 見込
連結	10	15	9	20	0

【参考】 単体	11	13	10	19	0
---------	----	----	----	----	---

- 投資有価証券評価損(約3億)の発生(特別損失)と連結子会社での法人税等調整額の発生が主たる原因

利益率

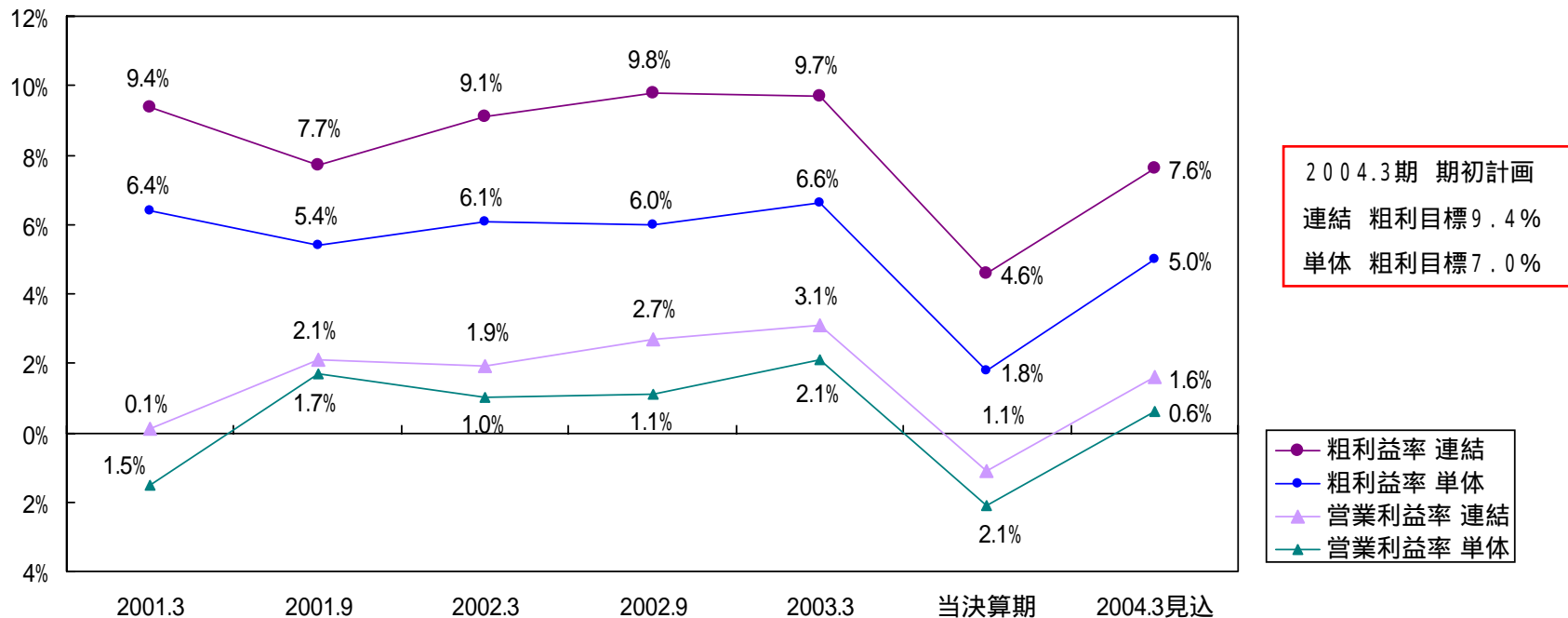
- 一部の不採算案件の影響で粗利益率・営業利益率ともに低下。
- 不採算案件は上期で一掃されるため、通期での利益率は回復傾向。

2003年度 粗利益率

	上期(2003.9)	下期	通期
連結	4.6%	10.7%	7.6%
単体	1.8%	8.3%	5.0%

2003年度 営業利益率

	上期(2003.9)	下期	通期
連結	1.1%	4.4%	1.6%
単体	2.1%	3.4%	0.6%



貸借対照表

【単位：億円】

	2002.9期	2003.3期	2003.9期	上期増減
流動資産	1,326	1,467	1,530	+63
現金預金	356	427	466	+39 a
完成工事未収入金等				
延払部分	138	124	107	17 b
上記以外	450	395	388	7 b
有価証券	5	0	0	+0
未成工事支出金	259	418	481	+63 b
その他	116	101	88	13
固定資産	539	527	532	+5
有形固定資産	342	338	334	4
無形固定資産	11	12	13	+1
投資等	186	176	184	+8
資産合計	1,865	1,994	2,062	+68

	2002.9期	2003.3期	2003.9期	上期増減
流動負債	1,090	1,209	1,269	+60
工事未払金等	314	332	371	+39 b
短期借入金				
延払部分	22	22	22	+0 c
上記以外	434	379	307	72 c
未成工事受入金	241	388	443	+55 b
その他	76	85	124	+39
固定負債	463	467	485	+18
長期借入金				
延払部分	93	81	69	12 c
上記以外	326	337	364	+27 c
その他	44	49	52	+3
少数株主持分	19	21	18	3
資本金	130	130	130	-
資本剰余金	155	155	155	+0
利益剰余金	15	22	2	20
その他有価証券評価差額	4	5	7	+12
為替換算調整勘定	5	5	5	+0
自己株式	0	0	0	0
負債・資本合計	1,865	1,994	2,062	+68

a ~ c : 14 ページ参照

連結資産・負債増減明細

a 現預金残高

・月商の2.9ヶ月と高水準。

(ジョイントベンチャー(JV)で受注したイラン向エネルギー関連案件の他社持分を含む頭金入金があった為)

・適正水準として、月商の1.5ヶ月～2ヶ月分を想定。

b 運転資金収支の改善56億円。(2003年3月末217億円 2003年9月末161億円)

改善の内容としては売掛債権の回収が順調に進んだこと、及び堅調な受注により増加した未成工事受入金の増加額が、未成工事支出金の増加額から仕入債務の増加額を控除した純額を上回ったことによる。

【参考】 運転資金について

売上債権、未成工事支出金の合計額から、仕入債務、未成工事受入金の合計額を控除したもの。

c 有利子負債の削減58億円。(2003年3月末821億円 2003年9月末762億円) 15ページ参照

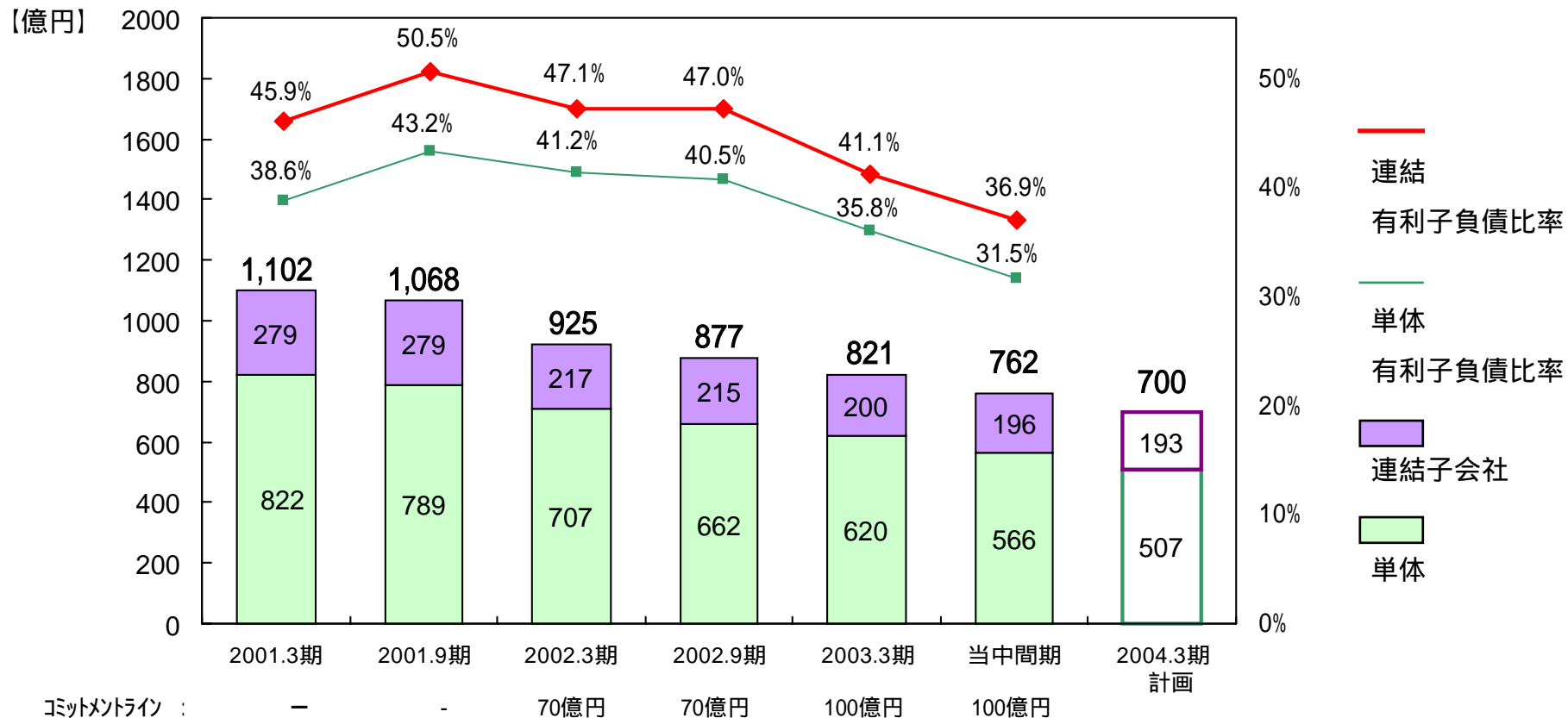
【参考】 延払について

これは当社の特徴的な部分であり、国際協力銀行の制度金融を利用した長期の輸出金融である。債権額の殆どは貿易保険でカバーされており、貸倒リスクは極めて低い。制度金融からの借入金は、有利子負債に含めて表示されているが、一般の借入金とは性格を異にするものである。

有利子負債

- ▶ 上期は58億円削減
- ▶ 通期では期初予定通り100億円超の削減を計画

2003/3月 2003/9月
 821億円 ▶ 762億円
 58億円



キャッシュ・フロー

【単位:億円】

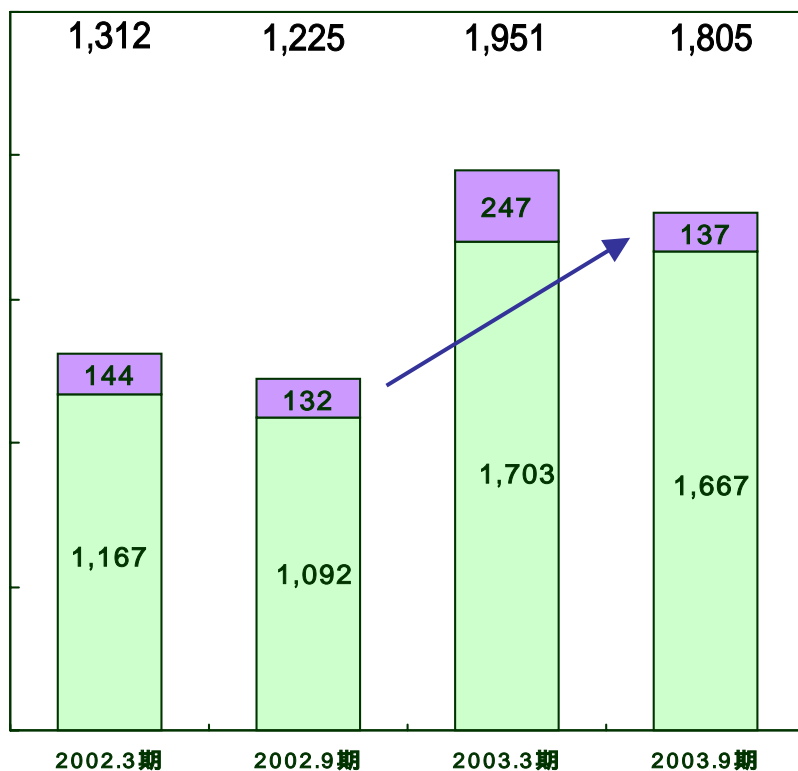
摘 要	前中間期			当中間期
	2001.4.1 ~ 2002.3.31	2002.4.1 ~ 2002.9.30	2002.4.1 ~ 2003.3.31	2003.4.1 ~ 2003.9.30
・営業活動によるキャッシュ・フロー	57	41	88	101
・投資活動によるキャッシュ・フロー	13	0	2	10
・財務活動によるキャッシュ・フロー	181	44	100	57
・その他	3	1	1	1
現金及び現金同等物の増減額	134	87	16	32
新規連結に伴う現金同等物の増減額	-	7	7	-
現金及び現金同等物の期末残高	434	353	425	457

営業活動によるキャッシュ・フローには、JVで受注したイラン向エネルギー関連案件の他社持分入金を含む。

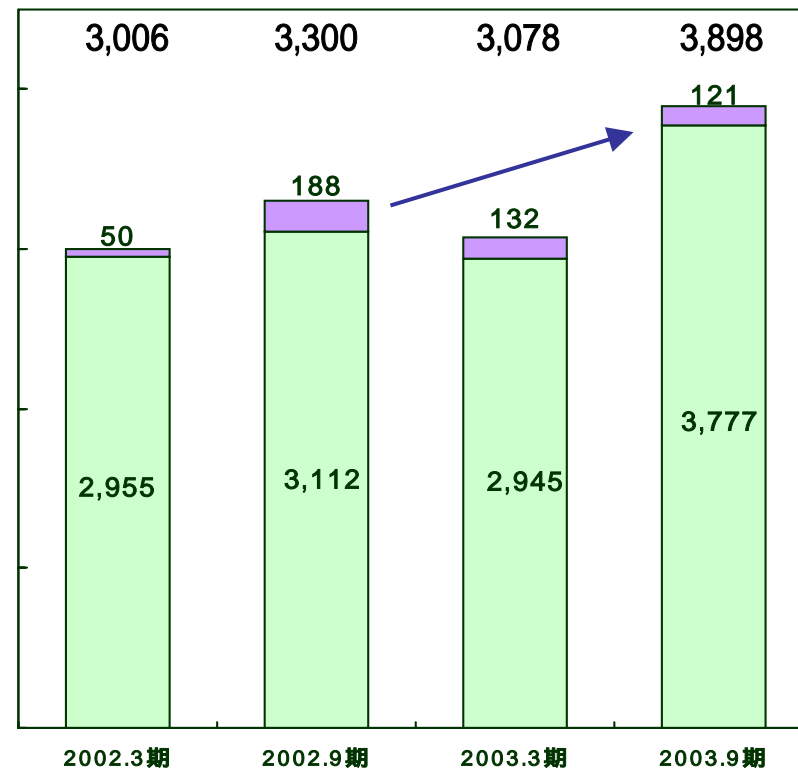
受注状況

【単位:億円】

受注高



受注残高



単体
 連結会社

受注高 (主要案件別明細)

主要案件別受注高

規模	2003.9期
1000億円以上	ロシア向 エネルギー関連
300億円以上	イラン向 エネルギー関連
その他	エネルギー関連・一般設備・IT・他
合計	1,805億円 (外部受注高)

通期受注目標2200億円
のうち中間期で82%達成

関連会社分: B - ENG 58億円

外部受注高

(プラント・ITのみで不動産は受注としてカウントしていない)

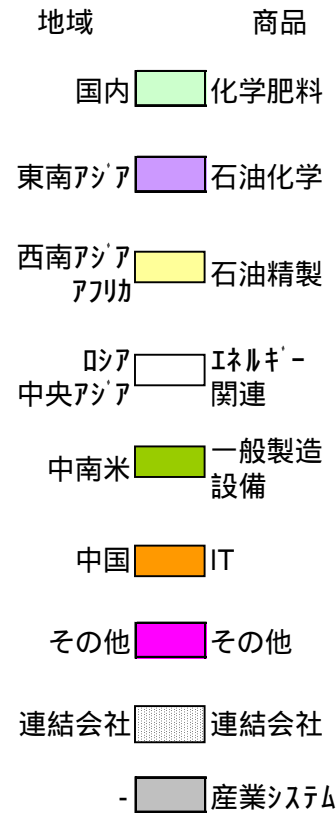
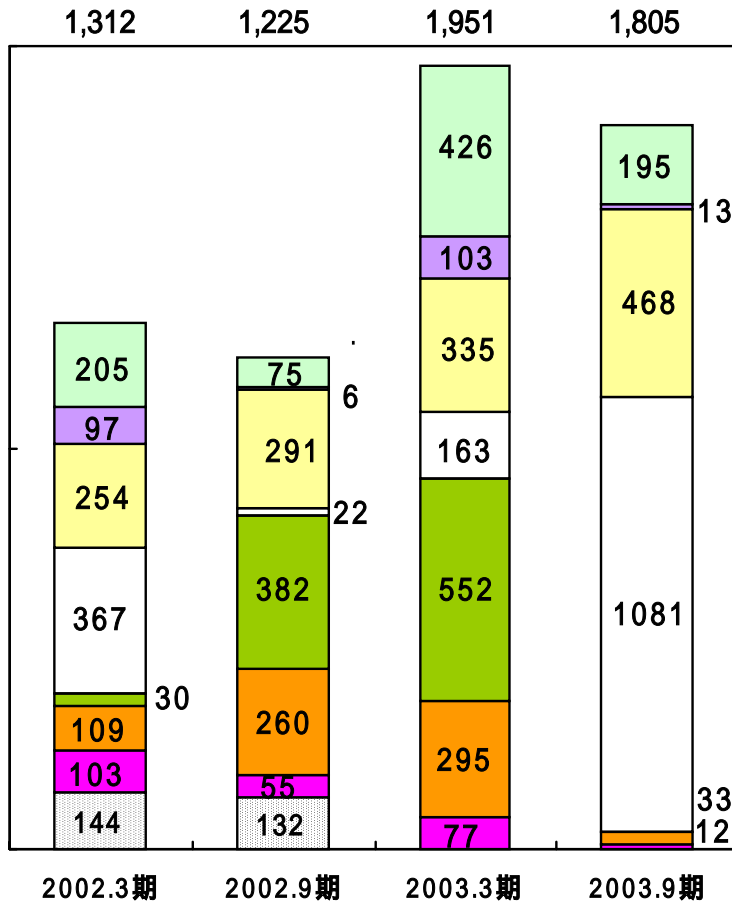
TEC	1,664億円
B - ENG	58億円
その他 国内関連子会社	23億円
海外関連子会社	58億円
合計	1,805億円

*不動産事業は含まず。

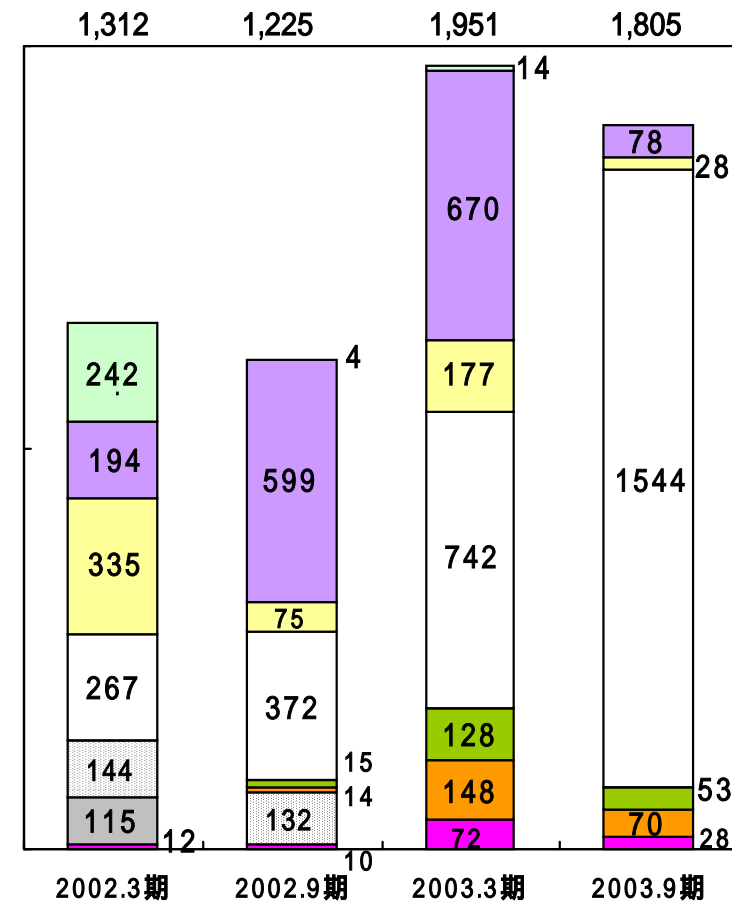
受注高 (地域別・商品別明細)

【単位:億円】

地域別



商品別

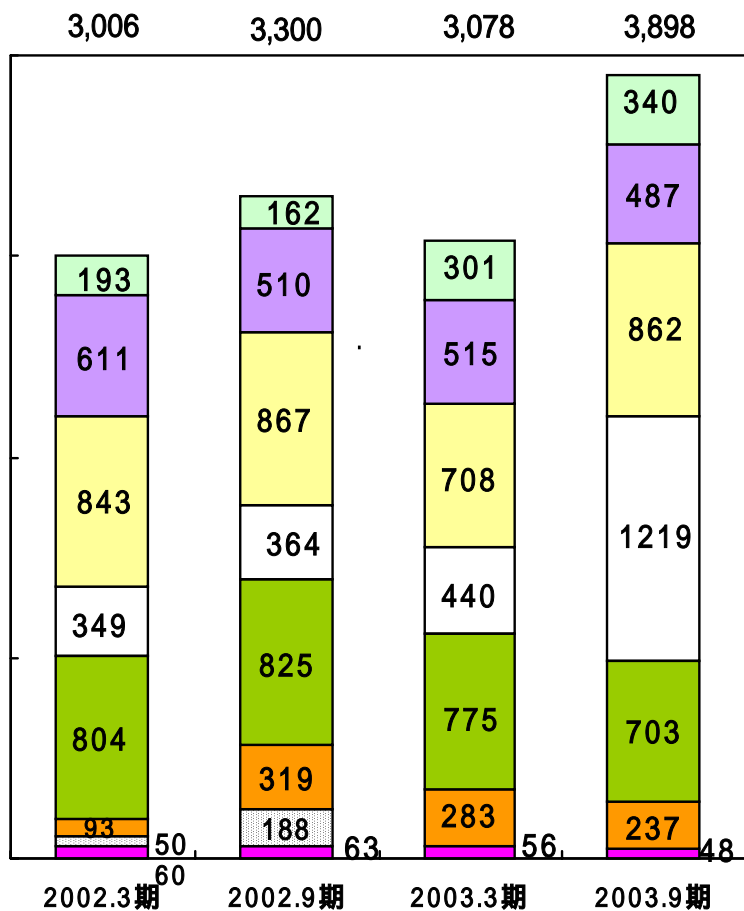


(注) 2003年3月期より連結ベースで地域別 / 商品別に把握することとしている。

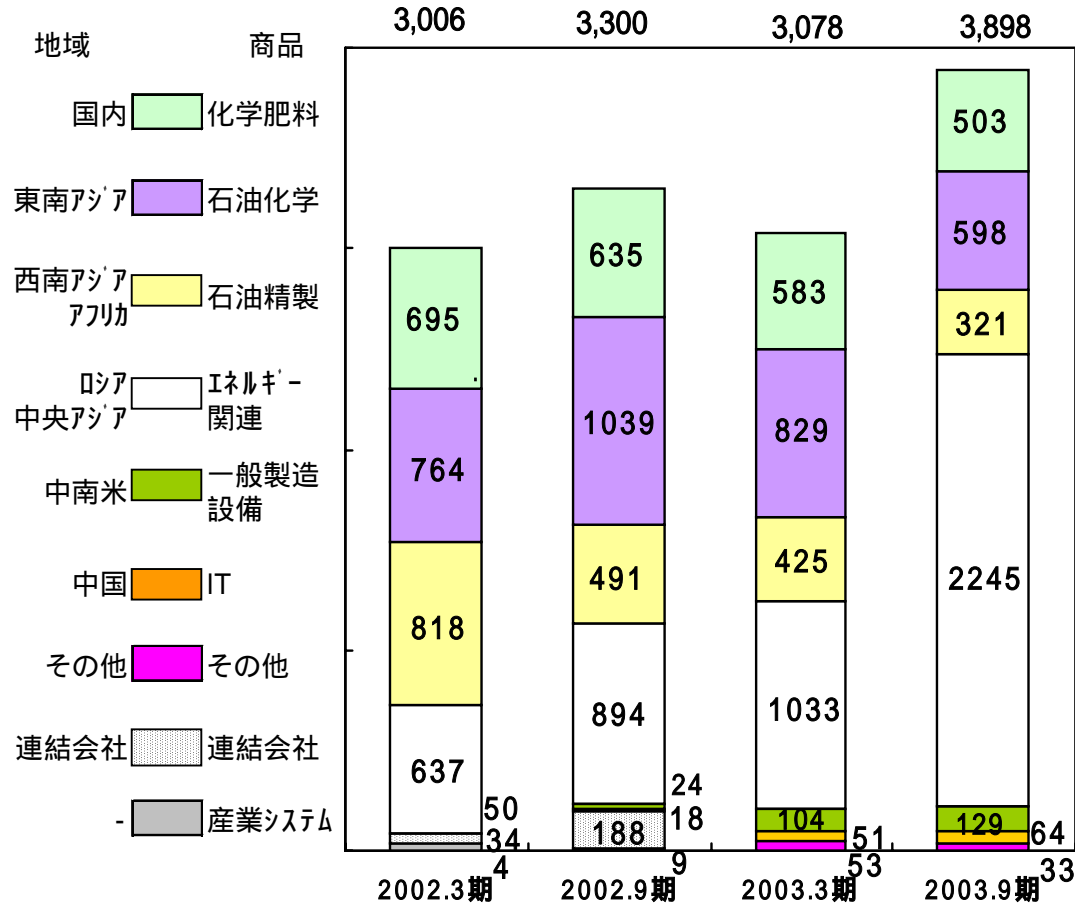
受注残高

[単位:億円]

地域別



商品別



(注) 2003年3月期より連結ベースで地域別 / 商品別に把握することとしている。

連結会社の状況

連結会社数

(単位:社)

	2003.3期	増	減	2003.9期
連結決算対象会社	13	1	0	14
連結子会社	12	1	0	13
持分法関連会社	1	0	0	1
(参考) 全子会社・関連会社	35	2	0	37
子会社	29	1	0	30
関連会社	6	1	0	7

主要な連結会社の状況

関係会社	事業内容	資本金	2003年9月期
			売上規模
連結子会社		億円	億円
東洋ビジネスエンジニアリング(株)	IT事業	7	48
(株)テックエステート	不動産事業	50	6
(株)サンテック	不動産事業	5	11
TOYO U.S.A.,INC.	EPC	1	32
TOYO ENGINEERING KOREA LIMITED	EPC	5	35
TOYO ENGINEERING INDIA LIMITED	EPC	0	28
INTERNATIONAL PROCUREMENT & SERVICE CORPORATION	EPC	1	146
持分法適用会社			
TOYO-THAI CORP.LTD.	EPC	7	31

業績見込

【単位:億円】

	2003.3期	2004.3期見込		備考												
		期初予想	今回予想													
連結																
売上高	1791	1800	1900	セグメント別見込: <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>プラント</th> <th>IT</th> <th>不動産</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>売上</td> <td>1716</td> <td>160</td> <td>24</td> </tr> <tr> <td>営業利益</td> <td>11</td> <td>9</td> <td>10</td> </tr> </tbody> </table> 不動産事業(テックエステート)、IT事業(東洋ビジネスエンジニアリング)による安定的な収益の寄与		プラント	IT	不動産	売上	1716	160	24	営業利益	11	9	10
	プラント	IT	不動産													
売上	1716	160	24													
営業利益	11	9	10													
営業利益	54	55	30													
経常利益	25	40	25													
当期利益	9	20	0													
受注	1951	2200	2200													
単体																
売上高	1492	1500	1600	サウジアラビア向石油化学案件の追加コスト発生と工事損益中の為替差損発生を受けて下方修正。 期初見込の為替差損がヘッジ対策により減少。その他営業外収益の増加もあり、営業外損益が改善。												
営業利益	31	35	10													
経常利益	12	30	15													
当期利益	10	10	0													
受注	1703	2000	2000													
配当	-	5円	未定													

見込の前提為替レート 1USDドル 115円 110円、1ユーロ 130円 130円

目標

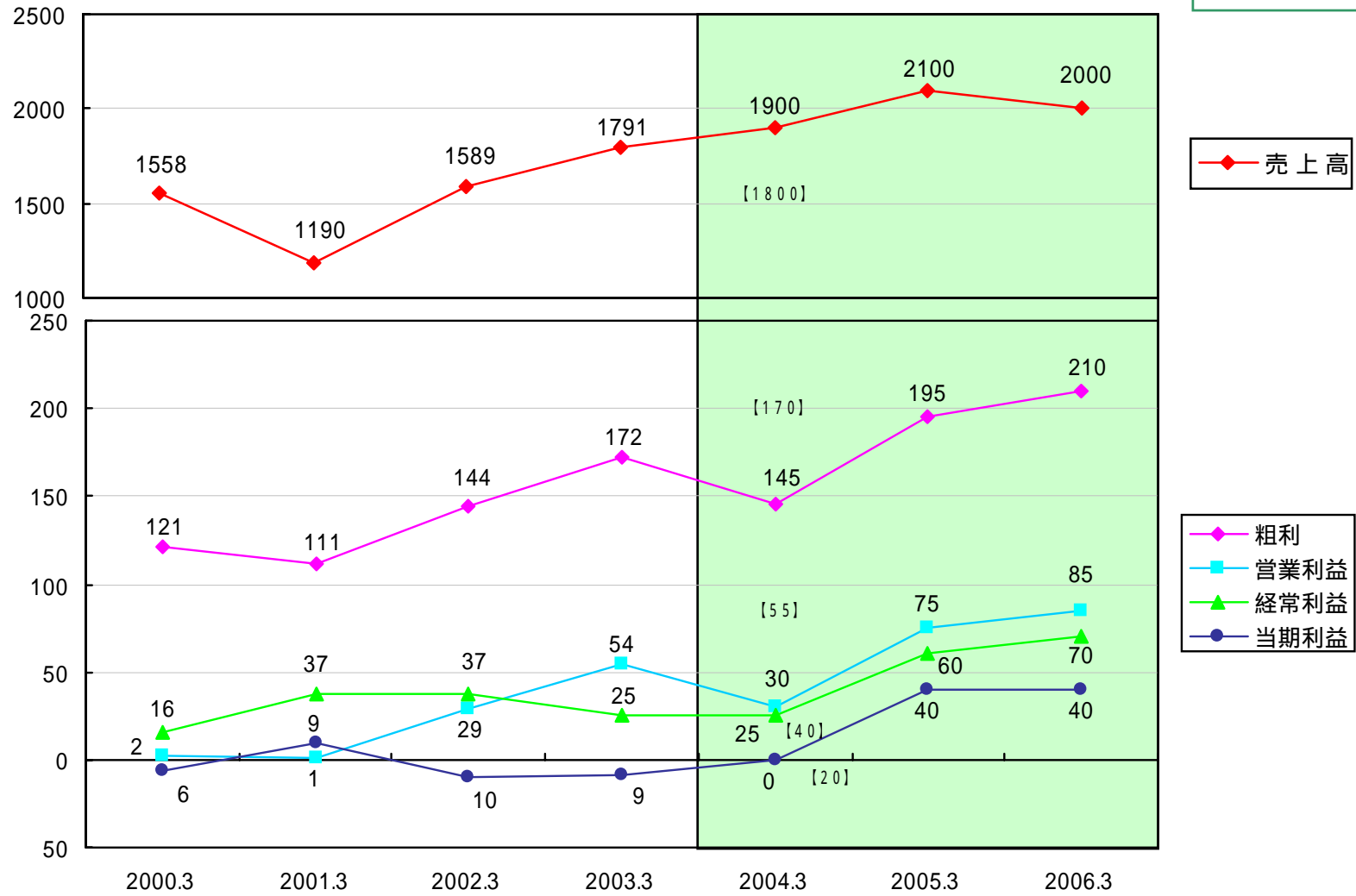
- **利益目標の達成**
- **利益率重視の受注戦略**
 - 注目地域： ブラジル、中国、中近東
 - 注目分野： エネルギー関連
- **赤字工事発生の徹底的な原因究明と再発防止**
- **財務体質の改善（有利子負債削減を継続）**

業績推移と中期収支計画

【単位:億円】

中期収支計画

【】内は期初計画による数値
2005.3期及び2006.3期は
期初計画通り変更せず



業績推移と中期収支計画 (単体)

【単位:億円】

